

東急サービスステーションで車検代行業務を拡充
平成11年10月1日から「ユーザー代行車検」の取り扱いを開始

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：清水 仁）では、国道246号線を中心とした地区にある8つのサービスステーション（宮前、新羽、あざみ野、市が尾、新石川、桂台、荏田、保木）で、従来からの「点検整備付き代行車検」に加えて、「ユーザー代行車検」の取り扱いを平成11年10月1日から開始します。

今回、新たに取り扱いを開始する「ユーザー代行車検」とは、ユーザー自らが車検場で車検を受けるユーザー車検の車検業務を代行するサービスのことです。

このユーザー車検は、平成7年の道路運送車両法の改正により、整備（法定2年点検）後に、車検を受けるという従来の方式に加えて、車検を受けた後に整備を行う方式が認められたことから、その機会が拡大されました。最近、このユーザー車検は従来の車検に比べて費用が割安であるということから注目されてきており、それとともに「ユーザー代行車検」の市場規模も拡大してきています。

また、近年、サービスステーション間での過当競争などにより、ガソリン販売を中心とする石油販売の収益率は著しく低下してきています。そのため、油外収益の拡充が必要になってきています。

このようなことから今回、車検代行業務に「ユーザー代行車検」の取り扱いを加え、より多くのお客さまのニーズに応えることで、油外収益の拡大を図りたいと考えています。

さらに、車検代行業務の拡充にともない、荏田サービスステーション内に事務手続きなどを集中的に行う「東急車検センター」を開設し、事務の効率化を図ります。

当社の石油販売事業は、生活サービス事業のひとつとして昭和29年に四谷サービスステーションを開業して以来40余年の歴史を刻んできています。現在では、東京城西地区から多摩田園都市を中心に、直営19店舗の東急サービスステーションを運営しています。

今回取り扱いを開始する「ユーザー代行車検」の概要は次のとおりです。

「ユーザー代行車検」の概要

○開 始 日：平成11年10月1日

○実施SS：国道246号線を中心とした地区にある8つのサービスステーション
宮前SS・新羽SS・あざみ野SS・市が尾SS・新石川SS・桂台SS
・荏田SS・保木SS

○業務内容：①メニュー

「ユーザー代行車検（エコノミー）コース」と「点検整備付き車検（パーフェクト）コース」の2コースを設定

②ユーザー代行車検（エコノミー）コースの料金

・車検基本料	9,800円
・テスター代	5,000円
合 計	14,800円

③「東急車検センター」の業務

荏田SS内に開設し、電話による車検予約受付、回送要員の手配、事務書類作成等を行う。

④SSでの業務

「車検受付」、「お車の預かり・引き渡し」のほか、受付時に「事前点検」を行い、お車の状態に合わせて、「ユーザー代行車検（エコノミー）コース」か「点検整備付き車検（パーフェクト）コース」かのアドバイスを行う。

○業務の流れ： 別 紙

○目標受注台数： 約2,000台／年

○目標売上高： 約35百万円

以 上